

## 事後内部評価シート

調査研究課題名	ポストペイ交通ＩＣカードの即時発行に関する研究
担当者	主任研究官 齊藤敬一郎、前研究官 千葉豪、研究官 川瀬敏明
当初目標と目標達成度	<p>本研究は、平成１４年度から平成１６年度にわたり行った「東アジアにおける交通系共通ＩＣカード導入に関する研究」において残された課題である複数通貨の決済への対応策としてポストペイ方式の交通ＩＣカードに着目し、海外からの旅行者の多くが保有するクレジットカードを決済手段としてカードを即時発行する仕組みについて、その具体化に向けた課題と導入による効果について検討、整理することを目標としたものである。</p> <p>即時発行の仕組みについて具体的かつ多角的な観点から検討し、５つのサービスモデル案を抽出し、それぞれを比較、評価する等サービスの実現に向けた問題点とその効果を整理することができたことから、当初の目標を達成したものと考えられる。</p>
調査研究内容の妥当性	<p>ポストペイ交通ＩＣカードを即時発行する仕組みについて、５つのサービスモデルを抽出し、それぞれについて利便性向上による利用者のメリットと企業の経営判断において不可欠な要素である事業者のリスクについて具体的に示すことができたことから、妥当な内容であると考えられる。</p>
調査研究の仕組みの妥当性	<p>専門的知見又は実務経験を有する学識経験者、行政機関、民間企業からなる「ポストペイ交通ＩＣカードの即時発行に関する研究会」を設けて調査研究を進めた。これにより専門的かつ実務的な研究とすることができたことから、妥当な仕組みであったと考えられる。</p>
成果と活用（予定）	<p>本研究で検討したサービスモデルをもとに、今後、鉄道事業者やクレジットカード事業者及びシステム開発事業者等により、利用者利便の向上度合いや事業者リスク等を踏まえつつ、各企業の経営判断の下、サービス実現に向けた取組みが行われることを期待する。</p>
その他	
内部評価委員会意見	